



まちづくり意見交換会

まちづくり意見交換会

「住みよい松田町をつくるための意見交換会」が、2月12日に、役場会議室にて開催されました。この意見交換会は、行政との橋渡し役として御尽力いただいている自治会長と町議会議員が一堂に会したもので、平成23年度に初めて開催されてから3回目になります。

今回の意見交換会では、「災害弱者に対する自主防災会の役割」と「買い物困難者に対する具体的な施策」をテーマに議論いたしました。この意見交換会で出された内容について、議員間で整理したものを「まちづくりに関する要望書」としてまとめ、3月26日に本山町長へ提出しましたので、その概要についてお知らせします。

災害弱者に対する

自主防災会の役割

武田・仲町屋自治会長の司会で、一つ目のテーマが始まりました。昨年度に議会から町長に要望した防災に関する内容について、庶務課長から町の対応状況の説明が行われました。

その後、「災害弱者に対する取り組み」について、仲町屋と新松田の自主防災会から、いざという時の高齢者や身体障害者への対応などの紹介がありました。出席者からは、自主防災会と民生委員との連携、一時

避難所へ避難した後、町はどのように災害弱者を支援するか、という意見が出されました。

買い物困難者に対する

具体的な施策

二つ目のテーマは、小澤議員が司会を担当しました。健康福祉課長から、介護認定者や身体障害者が受けられる買い物関係の福祉施策について、説明が行われました。その後、町内へのスーパーマーケット誘致が難しいなか、自家用車を持たない方が徒歩で買い物をする際に、どのよ

うな対策が必要なのか、買い物巡回バスの運行や定期的開催する朝市などについて、意見交換が行われました。

まちづくりに関する要望書

(要旨)

① 要支援者名簿の共有化と避難に関する指針の策定について
 発災時には、自主防災会（隣組）と民生委員との緊密な連携により、災害弱者を避難させる必要があるため、要支援者名簿の共有化に関する指針を示されたい。

また、自主防災会（隣組）が災害弱者を一時避難させるまでの手順や、医療救護を必要とする者を二次避難所へ移動する手順に関する指針を策定して、松田町地域防災計画へ反映されたい。

② 買い物困難者に対する行政主導による取り組みについて
 買い物巡回バスの運行支援、定期的開催する朝市や軽トラ市、臨時販売所の開設などの支援について、行政主導による取り組みをされたい。